

急性冠症候群とは？

心臓の筋肉に血液を送る冠動脈（かんどうみゃく）が、突然詰まったり狭くなったりすることで、心筋に酸素が届かなくなり、胸の痛みや命にかかわる重い症状が現れる病気です。

主な病気には、

- ・ **心筋梗塞（しんきんこうそく）**

血管が完全に詰まり、心筋が壊死してしまう状態

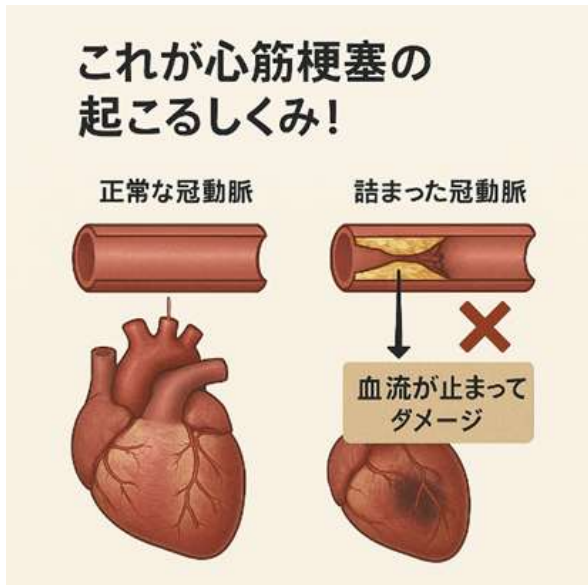
- ・ **不安定狭心症（ふあんていきょうしんしょう）**

血管が不安定に狭くなり、胸痛が繰り返し起こる状態があります。

急性冠症候群は、突然発症する心臓の緊急事態です。

主な症状

これが心筋梗塞の 起こるしくみ！



- ・ 胸が締めつけられるように痛む
- ・ みぞおちのあたりが痛む、
重い感じがする
- ・ 痛みが背中、左腕、
あごに広がることも
- ・ 冷や汗、吐き気、呼吸が苦しい
- ・ 数分～30分以上続く痛みや違和感

特に注意！

- ・ 高齢者・女性・糖尿病の方は「胸の痛み」が出にくい場合があります。
- ・ なんとなく体調が悪い」「いつもと違う感じ」がサインのことも！

**このような症状を感じたら、すぐに119番！
迷わず救急車を呼びましょう。**

治療について

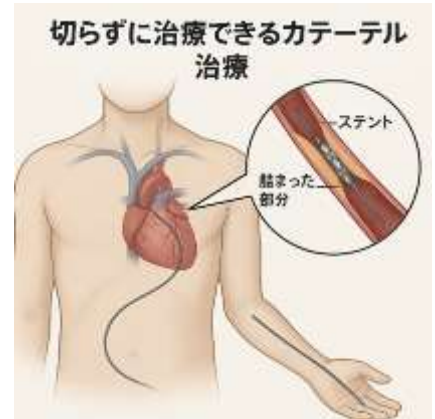
命を救う“カテーテル治療”

急性冠症候群の治療では、詰まった血管を早く開通させることが最も大切です。

代表的な治療法が **カテーテル治療（PCI）** です。

カテーテル治療とは？

- ・手首や足の付け根から、細い管（カテーテル）を血管の中に入れます。
- ・詰まっている冠動脈の部分に到達させて、風船で広げたり、金属の網（ステント）を留置したりして、血流を回復させます。
- ・多くの場合、胸を切らずに治療ができます。



治療は一刻も早く！

時間が経つと、心筋のダメージが広がり、命に関わることも。

生活で気をつけること

治療後も「生活習慣の見直し」が大切

カテーテル治療の後も、心筋梗塞の再発リスクは続きます。
以下のポイントを守って、心臓を守りましょう。

毎日続けたい予防習慣

- ・処方された薬をきちんと飲む
（血液をサラサラにする薬、血圧・コレステロールを下げる薬など）
- ・禁煙を徹底する
- ・塩分・脂肪を控えた食生活に（和食でも塩分の摂りすぎに注意！）
- ・無理のない運動を続ける（医師の指導のもとで）
- ・高血圧・糖尿病・脂質異常症の管理を続ける
- ・定期的に通院し、検査や指導を受ける

脳卒中・心臓病等総合支援センターおよび脳卒中・心臓病等相談支援窓口では脳卒中や心臓病についてのお悩みの相談に乗っています。
お気軽にお越しいただくか、メール、電話などでお問い合わせいただけましたら幸いです。

e-mail: sc-shien@kufm.kagoshima-u.ac.jp 電話番号：099-275-6895